

アステラスメールマガジンです。

今回は、10月30日に発表した2025年度第2四半期決算、「統合報告書2025」の発行、ウェブサイトのリニューアルおよび最近のニュースなどについてお知らせします。

2025年度第2四半期の連結業績は全体として想定を上回る好調な進捗であり、通期予想も大幅に上方修正しました。

売上収益は、重点戦略製品が引き続き力強く成長したことにより、前年同期比10.1%増と大きく増加しました。全社レベルでコスト最適化を追求する取り組みであるSustainable Margin Transformationの着実な進展により、販管費率*は前年同期比で3.1パーセントポイント改善しました。これらの結果、コア営業利益および営業利益は前年同期比でそれぞれ54.4%増、112.8%増と大きく増加しました。コア営業利益率は前年同期比で7.9パーセントポイント上昇し、27.4%となりました。

これらの想定を上回る好調な進捗を踏まえ、通期業績予想の売上収益を1,000億円、コア営業利益および営業利益をともに800億円上方修正しました。

決算短信や決算説明会資料などを当社ウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

*米国XTANDI共同販促費用を除く

IRミニトピックス

《IR関連情報》

■ 「IRライブラリー」を更新しました

10月30日発表 2025年度第2四半期決算関連資料を掲載しています。

<https://www.astellas.com/jp/investors/financial-results-library#section-accordion-2d408d5df9-0>

10月30日開催 2025年度第2四半期決算説明会の模様をご覧ください。

<https://www.irwebcasting.com/20251030/1/index.html>

■ 「統合報告書2025」を公開しました

アステラスの統合報告書では、経営計画2021の進捗とともに、中長期的な未来に向けて私たちがどのように「価値」を創り、届けているかをお伝えしています。本年の統合報告書では、冒頭にアステラスの競争優位を掲載しました。また、AIの活用による創薬力の強化や、アステラスの非財務活動が社会に与えるインパクトの可視化などのタイムリーな話題を取り上げました。さらに、トップマネジメント、社外取締役や従業員による熱い想いのこもったメッセージやインタビューも多数収録しています。

ぜひ下記のリンクから、アステラスとその魅力的な未来についてご覧ください。

<https://www.astellas.com/jp/about/astellas-integrated-report>

より良い統合報告書とするために、皆さまの感想やご意見を以下のアンケートフォームからお寄せいただければ幸いです。

<https://forms.office.com/r/bqWv2BR98k>

■10月8日 ウェブサイトをリニューアルしました

グローバルでより統一された情報発信を目的に、当社グローバルウェブサイトを更新しました。

<https://www.astellas.com/jp/>

■10月24日 Astellas Oncology Pipeline Online Meetingを開催しました

10月に開催された国際学会で発表した、PADCEV、Primary Focus「標的タンパク質分解誘導」の旗艦プログラムASP3082および「がん免疫」の旗艦プログラムASP2138の臨床試験データを説明しました。また、両Primary Focusの次世代パイプラインも紹介しています。ミーティング資料を以下のページでご覧いただけます（資料は英語のみとなります）。

<https://www.astellas.com/jp/investors/ir->

[library#:~:text=Astellas%20Oncology%20Pipeline%20Online%20Meeting](https://www.astellas.com/jp/investors/ir-library#:~:text=Astellas%20Oncology%20Pipeline%20Online%20Meeting)

■9月19日 「アイザベイTM硝子体内注射液20mg/mL」 萎縮型加齢黄斑変性における地図状萎縮の進行抑制を効能・効果として日本で条件付き承認制度適用による製造販売承認取得

アイザベイTM（一般名：アバシンカプタド ペゴルナトリウム）硝子体内注射液20mg/mLについて、萎縮型加齢黄斑変性（萎縮型AMD）における地図状萎縮の進行抑制を効能・効果として、製造販売承認を日本で取得しました。重篤かつアンメットメディカルニーズが高く、患者数が少ない疾患等を対象とする「医薬品の条件付き承認制度」のもと、アイザベイTMは製造販売承認申請から7カ月で承認を取得し、上記適応症において日本でファーストインクラスの治療薬となります。

当社は、アイザベイTMを一日も早く患者さんに提供し、アンメットメディカルニーズの高いGAを伴う萎縮型AMDの治療に貢献していきます。

<https://jp.newsroom.astellas.com/2025-09-19-TM-20mg-ml>

■10月14日 ゾルベツキシマブ 第II相GLEAM試験に関する最新情報

Claudin（CLDN）18.2陽性転移性膵腺がんの一次治療薬として開発中であるゾルベツキシマブについて、ゾルベツキシマブとゲムシタビンおよびnab-パクリタキセルの併用療法の有効性と安全性を評価する第II相GLEAM試験の最終解析において、ゾルベツキシマブ+ゲムシタビン+nab-パクリタキセル療法群（ゾルベツキシマブ+化学療法群）は、ゲムシタビン+nab-パクリタキセル療法群（化学療法群）と比較して、全生存期間において、統計学的に有意な改善が認められず、主要評価項目を達成しなかったことをご知らせします。なお、本試験におけるゾルベツキシマブ+化学療法群の安全性については、各薬剤の既知の安全性プロファイルと同様であることが確認されました。

アステラス製薬は、GLEAM試験の詳細なデータ解析を完了し、副次評価項目およびサブグループ解析を含む結果の公表に向けて治験責任医師と協力していきます。

今後も治療が困難で進行の早い膵臓がんに苦しむ患者さんに新たな治療選択肢を提供することを目指し、パイプラインのさらなる充実に努めていきます。

<https://jp.newsroom.astellas.com/2025-10-14-II-GLEAM>

■10月14日 抗体-薬物複合体PADCEV™（エンホルツマブ ベドチン）筋層浸潤性膀胱がんを対象としたペムブロリズマブとの併用療法についてFDAが生物学的製剤一部変更承認申請を受理、優先審査指定

Pfizerと共同で開発を進めている抗体-薬物複合体であるPADCEV™（一般名：エンホルツマブ ベドチン（遺伝子組換え））とMerckのPD-1阻害剤KEYTRUDA®（一般名：ペムブロリズマブ（遺伝子組換え））の併用療法について、シスプラチンを用いた化学療法に不適応の筋層浸潤性膀胱がん患者を対象とした術前術後の補助療法として、米国食品医薬品局（FDA）が生物学的製剤一部変更承認申請を受理した旨の通知を受領しました。

本申請は優先審査の指定を受け、FDAによる審査終了目標日は、2026年4月7日と定められました。

<https://jp.newsroom.astellas.com/2025-10-22-PADCEV-TM-FDA>

■「最先端のイノベーションの地で：米国マサチューセッツ州での軌跡」ストーリーを公開しました

この記事では、アステラスが米国マサチューセッツ州というライフサイエンスの中心地において、イノベーションを加速するための戦略的な拠点づくりと、地域の活気あるエコシステムとの連携を通じて、医療イノベーションの最前線で研究活動を進めている様子を紹介しています。

ぜひ、この記事をご覧ください。

[最先端のイノベーションの地で：米国マサチューセッツ州での軌跡](#)

■「職場における閉経の影響を明らかにする」ストーリーを公開しました

10月18日は世界メノポーズデーです。この記事では、閉経が職場環境に与える影響について、アステラスが実施した研究結果をもとに詳しくご紹介しています。閉経は多くの女性にとって自然なライフステージであるにもかかわらず、キャリアの継続や心身の健やかさに深刻な影響を及ぼしていることが明らかになりました。

また、こうした課題に対処するためにアステラスが推進しているグローバルな取り組みについても紹介しています。社員一人ひとりが安心して働ける環境を整えることを目的とし、啓発活動や研修、情報提供などを通じて、閉経に対する理解と支援の促進を目指しています。

ぜひ、この記事をご覧ください。

[職場における閉経の影響を明らかにする](#)

■「一刻を争う患者さんのために—Rao V. Mantriのご紹介」ストーリーを公開しました

この記事では、アステラスの製薬技術担当Chief Manufacturing Officer (CMfgO) であるRao V. Mantriが、スピード感を重視して業務に取り組む姿勢を紹介しています。記事の中で彼は、ゴールを見据えた姿勢や、テクノロジーによるイノベーション、そしてMONOzukuri (モノづくり) の実践を通じて、製品開発・製造チームがスピード感をもって取り組むことができると語っています。また、彼のサステナビリティへのアプローチや、過去の経験から生まれた個人的な原動力、そして彼が描く製造の未来についても紹介しています。

ぜひ、この記事をご覧ください。

[一刻を争う患者さんのために—Rao V. Mantriのご紹介](#)

120文字のアステラス

人の体はくすり工場

ご存知でしたか？

がん細胞は、体の中で、毎日生まれ、消えている事実を。

そのがんが消えていくのは、

人の体が、自ら特効薬を

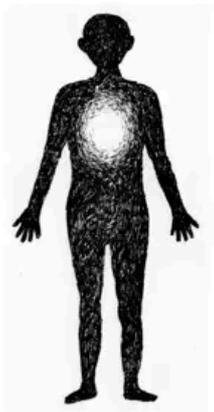
創ってくれるから。

体の中の、くすりの工場。

抗体医薬の、大切なお手本。

明日は変えられる。

アステラス製薬



IR担当者のひとことボイス

10月に入っても夏のような暑さが続いていましたが、ここ数日は急に空気がひんやりとし、地域によっては冬のような寒さが訪れています。ウェブサイトのリニューアルなどにより、本日は3か月ぶりにメールマガジンをお届けします。私にとってあっという間の3か月間だったのですが、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。

本日10月31日はハロウィン、街もオレンジ色の装飾で賑わっています。同じ時期にメキシコでは「死者の日」という行事が行われます。日本のお盆に似て

いますが、死者を偲び、感謝し、生きる喜びを明るく祝うことがお盆との違い
だそうです。

ハロウィンの起源は、古代ケルト人の祭り「サウィン」にまで遡ります。古代
ケルト暦では10月31日が新年前夜とされ、先祖の霊を迎える習わしがありま
した。どの文化でも、季節の変わり目は"生命や死"に思いを馳せる特別な時期
のようです。

改めて生命の尊さを感じるこの季節、皆さまもご自身やご家族、大切な方との
未来を改めて見つめ直す機会としてみるのはいかがでしょうか。

みなさまの声をお聞かせください

メールマガジン読者の皆さまにご意見やご感想をお伺いするためのアンケート
を実施しております。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見やご感想を今
後のよりよいメールマガジン作成の参考とさせていただきますので、ご協力を
お願いいたします。

アンケートフォームはこちら。

<https://forms.office.com/r/0PeK6tvG61>

アステラスメールマガジン No.124 (2025/10/31)

◆配信停止は下記から↓

<https://q.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=bm65634vc&task=cancel>

◆発信元 アステラス製薬株式会社 (編集: 広報 IR)

お問い合わせ先: <https://www.astellas.com/jp/form/individual-investors-contact>

